

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		玉野市児童発達支援センター 放課後等デイサービス				公表日	2026年 3月 5日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	2	・個別に配慮が必要なお子さんには相談室を使ったり、指導室を借りたりしながら対応している。 ・プレイエリアが狭そうに感じるため、分散して過ごせるよう工夫している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	0	4		・10人の利用人数に対して職員が3人配置になると活動内容を制限しなければならないこともあるため、改善が必要だと感じている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	2	・利用者さんの特性に応じて過ごす場所を変えて対応している。 ・掃除、整理整頓に努めている。	・活動に合わせた空間になっているが、狭そうに感じる時があり、活動人数を調整している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1	・一人になれるスペースを設置している。	・個室はあるが、他の用で使用していて使えないことがある。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	・療育後に活動の振り返りをしている。また、プラン更新月には担当者会議を開いたり、カンファレンスを行ったりしている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・保護者対応時や懇談の際に聞き取りをしている。 ・毎年事業所評価アンケートを実施。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・職員同士意見が言えるように場を設けている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0	・部門内にある接遇委員会の職員が視察に来ている。改善が必要なところは職員間で確認し、実施している。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	・強度行動障害支援者養成研修、部門内研修、OT研修の実施。 ・部門内研修は当日参加が難しくても、後日いつでも見れるように動画があるため、全員が受講できている。			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	・担当者会議で話し合ったことをその都度職員間で共有している。カンファレンスの際に、担当職員だけでなく、職員全体で評価をしている。 ・日々の記録をもとにアセスメントを行っている。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	・子どもの最善の利益を考えて計画を作成している。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	・毎日療育後に振り返りを実施。記録ヘブロンに沿った内容を記録している。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	・子どもの様子を記録するようにしている。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	・保護者からの相談を受け、家庭でできる支援内容について一緒に考えている。 ・地域支援については、年に一度マルシェを実施し、地域の方に事業所を知ってもらう機会を設けている。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	・職員全員が立案を見れるようにしている。			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	・日々のスケジュールについては、毎日違う職員が立案するようにしている。保護者から相談を受けた際には、必要に応じて個別に活動をする日もある。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	1	・上記同様。	・個別活動を組み込んでいても取り組み回数が少ないことがある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	・パート職員は勤務時間が異なっているため、出勤をされてから役割や注意事項等確認をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	・終礼時に振り返りを実施。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	1		・記録が抜けていることがあるため、記録を書く時間を作るように動いている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	・計画更新月にはモニタリング実施後、カンファレンスを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	0	・組み合わせた支援を提供するよう努めている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	・設定していた活動が難しい場合には、本人の意向を聞き、無理のない範囲で内容や量を調整しながら取り組んでいる。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	・管理者と担当職員で会議に参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	・学校訪問に行った際に、担任と情報共有する機会を設けている。 ・必要に応じて、担当保健師や市役所などと連絡を取り合っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	1	・連絡帳で保護者の方にその都度確認をしている。 ・保護者から情報を得ることが多い。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4		・連絡を取り合って情報共有をしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	2		・移行する場合は情報提供をしたいと思う。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2	・法人全体で研修を受ける機会がある。（年1回）	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	4	・交流はないがマルシェでつながりを作っている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2	・子ども部会へ参加。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		・保護者対応の際に、学校や家庭の様子を聞き取っている。また、学校訪問での様子もタイムリーにお伝えしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4	・懇談時やお迎え時に情報提供を行っている。	・療育参観や茶話会等、保護者が参加できる企画を予定している。
保	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		・懇談時に確認をしている。 ・利用児に対しても確認する機会を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		・上記同様。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		・お迎え時に助言をしたり、別日に時間を設けて話をしたりしている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		4		・療育参観や茶話会等、保護者が参加できる企画を予定している。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	2	・なぜ意見、苦情につながったのか職員間で話し合い、次につなげられるようにしている。	・個人として迅速、適切な対応ができていなかった。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		・通信にホームページのURLを記載し、共有をしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		・定期的に書類を確認し、必要ないものはシュレッダーで処分している。ホームページや通信にあげる写真は、事前に保護者の同意を得ている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		・伝わりやすい話し方を意識している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1	・年1回開催されるマルシェに参加。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		4		・定期的に避難訓練の実施はできていないが、児発事業所と合同での訓練（通報含む）は実施している。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		・利用者カルテに記入してもらっている。変更がないか定期的に確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1	・利用者カルテにアレルギーの有無について記載してもらい、保護者から対応方法を直接聞いている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1	・毎月施設内の安全点検を実施。日々の療育前後にも環境に不備がないか確認を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		・終礼の際にヒヤリハットの報告をし、改善点について職員間で話し合っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		・研修を受けたり、月に一度事業所内で振り返りを行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4				